

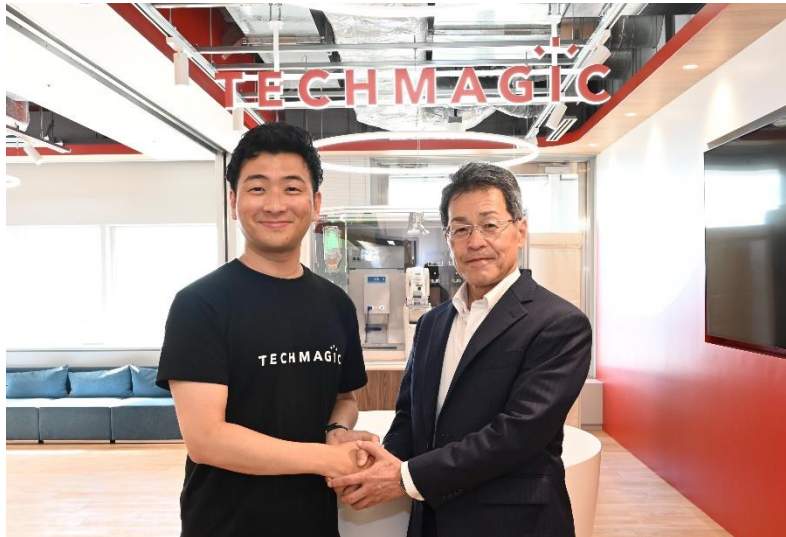


“キューピー版スマートファクトリー”の実現に向けて

## 調理ロボットの TechMagic と資本業務提携 未来型食品工場の共創、食の最先端生産技術の構築を推進

— キューピー株式会社 —

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮 満、以下キューピー）は、TechMagic 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：白木 裕士、以下 TechMagic）と資本業務提携契約を締結しました。両社は、最先端技術などの活用およびプロジェクトを通じた人材の交流により、2030年を目標にした「未来型食品工場」の早期具現化を目指すとともに、双方が持続的に成長できるパートナーシップの構築を図り、食産業への貢献を目指します。



㊤TechMagic 株式会社 代表取締役社長 白木 裕士 ㊦キューピー株式会社 取締役 常務執行役員 渡邊 龍太

キューピーと TechMagic は、この度の資本業務提携により、食品製造における業務自動化技術の開発に取り組み、食品工場全体における生産性の向上と人手不足への対応を両社で推進していきます。

食品産業では、製造現場における慢性的な人手不足が課題となっています。食品製造業における人手不足の実態調査<sup>※1</sup>によると、人手不足により業務に影響があると回答した食品製造業従事者は全体の 62.2%<sup>※2</sup>にも上り、具体的な影響として、「職場環境の整備の遅れ」や「技術・ノウハウを十分に伝承できないこと」などが挙げられました。

その上、既存の技術ソリューションは、人による作業と比較して再現精度が低いこと、また装置が大掛かりで導入費用も高額であることなどから、食品工場では未だ多くの工程に人の手を必要としているのが現状です。

この課題に対し、キューピーの「製造技術における幅広い知見」、TechMagic の「ハードウェアとソフトウェアを高度に融合した技術」を用いて、食の最先端生産技術の構築を目指します。日々の工程をシンプルにして、働く人がより生き生きと創造的に仕事ができる生産性の高い「未来型食品工場」（キューピー版スマートファクトリー）を共に創り上げていきます。

※1 食品製造業における人手不足の実態調査概要 -富士電機株式会社

<https://www.fujielectric.co.jp/products/foodfactory/research/research01/>

※2 「深刻な影響がある」9.6%、「影響がある」52.6%

## 2030年に向けて未来型食品工場の 早期具現化を目指す



- 食品製造に関する設備ノウハウの提供
- 実証実験への協力

- ハードウェア・ソフトウェアを活用した自動化技術の開発

### 【資本業務提携先の会社概要】

社名	TechMagic 株式会社
本社	東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンタービル西棟 19 階
設立	2018 年 2 月
代表者	代表取締役社長 白木 裕士
公式サイト	<a href="https://techmagic.co.jp/">https://techmagic.co.jp/</a>
事業内容	①調理ロボット事業 主に大手飲食チェーン店の厨房内における一連の調理工程に対し、ハードウェアとソフトウェア両方の技術を高度に融合して自動化。 ②業務ロボット事業 セントラルキッチンや食品工場などで発生する、洗浄後の食器仕分け・不定形物を含む食品の定量盛り付け・食品加工・運搬などの単純作業をロボット化。